

ねらい

○まだしゃべれない赤ちゃんであっても、コミュニケーションは大切にしたいものですが、乳児をもつ母親の中には、孤立感からケータイやスマホで他の大人とつながりたいと思う場合もあるでしょう。参加者同士が交流する中で、赤ちゃんとの関わり方や言葉がけの工夫をもち帰ってもらいましょう。

時間	内容	主な活動	留意点
例： 60分 00:10	はじめのこ とば	「みなさん、こんにちは。ご多用のところ参加いただきありがとうございます。今日は、年齢に応じた“お手伝い”について、考えてみたいと思います。司会の〇〇です。よろしくお願いします。」	◇笑顔で親しみやすい言動に努めましょう。  小道具として「お茶」やちょっとした「お菓子」があるとやわらかい雰囲気を演出し、話も弾みやすくなります。 
	3つの約束 確認	「この会は、ともに楽しく学び合い、みなさんと作り上げていくものです。誰もが『参加してよかった。』と思える会にするために、協力していただきたい3つの約束があります。」  ① <b>参加</b> 「積極的に話し合いに参加しましょう。全員が参加できるように、協力をお願いします。」  ② <b>尊重</b> 「お互いの意見や感じ方を尊重しましょう。他の参加者の意見を否定したり、自分の考えを押し付けたりしないようにしましょう。話したくないことは、パスしてもかまいません。」  ③ <b>守秘</b> 「子育ての交流ですから、個人情報に関わる内容も出てきます。同じ時間を共有する者同士の信頼関係のうえで行われる交流です。決して口外しないようにしましょう。」	◇会を成功させるために、学習を始める前に参加者全員で「3つの約束」を確認しましょう。  ◇一人が話し過ぎないように、時間配分を考えながら、全員に話す機会を回すようにしましょう。  ◇「相手の目を見てうなずきながら聞くとか、相槌を打ちながら聞くなどすると、話す人も嬉しいですね。」と具体的な聞き方を伝えると分かりやすいでしょう。  ◇子育て中の親として、家族に関わることも話題になりますが、自由に話してもらうためにも、信頼関係が大切であることを理解してもらいましょう。
	アイスブレイク	「それでは、みなさん、私と一緒に心と体をほぐしましょう。」 「少し緊張していらっしゃるようですので、一緒にリラックスしましょう。」  <b>肩たたき</b> 「もしもしかめよ♪の歌に合わせて、隣の人の肩をたたきます。“右”と言ったら右手で、“左”と言ったら左手でたたいてください。歌の途中で声をかけますので気をつけてくださいね。では・・・」	◇アイスブレイクとは、参加者の不安や緊張を氷にたとえ、その氷(不安や緊張)を溶かすという意味をもった活動です。  ◇15ページ「7 アイスブレイクに活用できる簡単なゲーム」 ①参照  

<p>00:40</p>	<p>ワークショップ</p>	<p>「それでは、緊張もほぐれたところで、お配りしたプリントの『こんなことはありませんか』をそれぞれお読みください。そして、ゆうくんのお母さんにどんな言葉をかけてあげるか、簡単にメモしてみましょう。」</p> <p>グループディスカッション  <b>&lt;ワーク1&gt;</b>          「みなさん、読み終えた順に、ゆうくんのお母さんにどんな言葉をかけてあげるかをお話しして、交流しましょう。」</p> <p>・赤ちゃんって目が離せないよね。その気持ちわかるよ。          ・今がいちばん大変な時期かもしれないね。          ・赤ちゃんは体を使っていろんなことを試しているよ。          ・赤ちゃんは話せなくても、お母さんと会話したくて、じっと目を見てるよ。          など</p> <p><b>&lt;ワーク2&gt;</b>          「それでは、赤ちゃんが喜ぶことを出し合ってみましょう。どんなことを喜びますか。」</p> <p>・うちの子は、顔をみると、ニコッとする。          ・うちの子はくすぐってあげるとうれしそうなる顔をする。          ・うちの子は、顔に息をかけると喜ぶ。          など</p> <p>「資料を読んでみましょう。」          ◇ 豊かな感性が「心」を育む          ◇ ことばの育ち          「資料を読んで、赤ちゃんにどんなことをやってあげたいと思いましたか。隣の人に話してみましょう。」</p> <p>・いろんなところでいっぱい話しかけたい。          ・外に出ていろんな感覚を体験させたい。          ・自然の音を聞かせて話しかけたい。          など</p> <p>「いかがでしたか。いろいろな工夫が出されて、今日から生かせそうですね。」</p>	<p>◇「こんなことはありませんか」については、詳細な説明はせずに、読んでいただくとよいでしょう。          ◇話し合いを進めるには、様々な方法があります。話し合い編を参考にしてください。</p> <p>◇どんな話が出されているか、簡単にメモをとるとよいですね。話している方を見て、うなずきながら聞くようにしましょう。</p> <p>◇自由に自分の接し方が話せるように、進行役の方がやってみせると、言いやすくなります。</p> <p>◇感じたことを気軽に話せるよう、話している方を見て、うなずきながら聞くようにしましょう。</p> <p>◇出された意見をまとめたり、結論を出したりする必要はありません。自分自身、こんなヒントをもらったというように、同じ立場で話すとよいでしょう。</p> <p>◇司会が代表で読みあげてもいいでしょう。          ◇時間がなければ2つの資料から1つを選んでもいいです。          ◇時間があれば、資料を読んだ感想を交流するのもよいですね。</p>
<p>00:10</p>	<p>ふりかえり</p>	<p>「私も、子どもが小さい頃は、黙々と接していた気がします。お母さんが笑顔で話しかけると、赤ちゃんもうれしいですね。」</p>	

	<p>おわりのことば</p>	<p>「みなさん、今日参加されていかがでしたか。毎日、お子さんを目の前にして奮闘していらっしゃる皆様方にとって、少しでも気持ちが軽くなったり、何かヒントを得たりしていただけたならうれしいです。お話を伺っていて、本当にみなさんよくやっていたら嬉しいなと思いました。これからも、お困りのことがあれば、一人で悩まずにこのような機会を活用したり、参加された方同士情報交換したりしてくださいね。」</p>	<p>◇最後は、参加者の日頃のがんばりを認めることのみとし、指示やアドバイスをすることは避けましょう。</p>
--	----------------	---	---

